



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan
Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 K.C. Samuel (インド)
フェローシップとインパクトで次の100年へ
アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)
新しい時代とともに、エレガントに変化を
西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)
原点を知り将来に生かす
Know the origin and utilize it in the future!
六甲部部長 若林成幸 (宝塚)
困難なときにこそYMCAと共に進もう
Let's proceed with YMCA in difficult times
芦屋クラブ会長 大岩雅典
主題 力を合わせて出来ることから始めよう
Let's start with what we can do together

今月の聖句

「イエスはこれを聞いて感心し、従っていた群衆の方を振り向いて云われた。『言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。』」

〈ルカ福音書 7:9〉

6月第1例会

と き: 2023年6月21日(水) 19:00~21:00
と ころ: ライブハウス スターティング・オーバー
司 会: 島田 恒ワイズ

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 開会点鐘 | 大岩雅典会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 大岩雅典会長 |
| 5. 食前感謝 | 横山徹太郎担当主事 |
| 6. 会食・歓談 | |
| 7. 演奏: | Madoca Jazz Quartetto |
| 8. 事務報告 | 大岩雅典会長 |
| 各事業委員報告 | 各事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 10. ニコニコ報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 11. 誕生日祝い | 大岩雅典会長 |
| | 上野恭男・桑野友子・船橋知子(各ワイズ) |
| 10. 閉会点鐘 | 大岩雅典会長 |

会 長	大岩雅典
直前会長	大岩雅典
副 会 長	山口光一・福原吉孝
書 記	柏原佳子・上野恭男
会 計	羽太英樹
監 事	上野恭男
担当主事	坂本孝司
六甲部広報委員長	大岩雅典

6

June, 2023
312号

石の上にも三年

大岩 雅典

三年間芦屋クラブの会長を務めさせていただきました。まずサポートくださった芦屋クラブキャビネットの方々にお礼を言いたいと思います。何故3年?と不思議がられる方々沢山おられます。芦屋クラブには人材がないのか?とのお声も聞こえてきます、否、そんなわけではありません。偶然が重なりそうなたただけで人材不足などという事は全くなく、むしろ優秀な方々が沢山居られたからこそ、3年間無事に会長職を勤めることができました。偶然と申しましたが、やはりコロナが最も大きい理由でした。途中降板や退会などがあり、その時に偶々はやってもいいですと言っていた私の順番が繰り上がりスタートしました。そして、スタートしてからはもっともっとワイズのことを知りたくまりました。その欲求が大きくなり、気が付けば3年間の時間がたっておりまして。知りたい欲が原動力で結果、ことわざ通り「石の上にも3年」やっと頭の中で整理がつきワイズのことを理解できる日がやってまいりました。私のような不器用な人間でも何とかやってこられたのは、偏にキャビネットの方々のお力です。本当に感謝しかありません。これで一旦会長は終わりますが、来年度からは会長とは違ったアプローチでワイズダムご奉仕に励んでいきたいと思っております。3年間ありがとうございました

5月例会集計

第1例会出席メンバー	14名	例会出席率	出席者 14名	BF切手	
メネット	1名	メイクアップ		累計	gm
コメット		合計	14名		
ビジター	1名	在籍者	17名	ニコニコ	10,570円
ゲスト	1名	(内広義会員1名)		累計	130,680円
合計	17名	出席率	87.5%		

5月第1例会報告

日時：5月21日(水) 19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・島田 恒・堤 清・中島香織・羽太英樹・濱瀬真知子・坂東幸子・福原吉孝・増田知子・山口光一(各ワイズ)・横山徹太郎担当主事

ビジター： 田辺征一ワイズy(神戸学園都市クラブ)

ゲスト： 細谷志朗氏(ゲストスピーカー)・渡辺徹也氏

例会は定刻に始まり、大岩会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、羽太ワイズによる「今月の聖句とその読み説き」、ゲスト・ビジター紹介と続きました。

通常でしたら、食前感謝・ディナーとなるのですが、今日のゲストスピーチはワインガーデン・リブゴージュのオーナー細谷志朗氏による「日本ワインのお話」、食事の前に「フランスワインと日本ワインの飲み比べ」なんとも贅沢な時間を持ちました。各自にフランスパンのみサービス、ワインを飲む前に口の中の雑味を取り除き純粋にワインを味わうことが出来るそうです。



細谷氏が銘柄を隠したワイン①をワイングラスに注ぎ、テイastingが始まります。まず、色は？香りは？お味は？そして総合評価です。フランスパンを一口食べた後、ワインを飲みます。お隣のテーブルからは、「これはままあだな」の声が聞こえます。

次にワイン②をワイングラスに。またお隣のテーブルから「これは美味しい」との声。実はワイン①はフランス産、ワイン②が日本産、今回用意した日本産のワインは「とても美味しい」との事。芦屋クラブのメンバーの中にはなかなかのワイン通があられますね。

資料を沢山揃えてのワイン講座「日本のワイン」の年代・生産地・生産者・品種・特徴を解説されました。「ワインは頭で理解する物ではなく、舌で味わう飲み物です。もし日本ワインに興味を持たれたなら、是非日本ワインに詳しいワインショップで購入されることをお勧めします。」と締めくくられました。



皆さんワインを楽しんで頬がほっこりピンクに。山口ワイズの食前感謝で食事が始まり、歓談の時を持ちました。その後、事務報告・各事業報告・ニコニコ報告・誕生日お祝いといつも通り進みます。ビジターの田辺征一ワイズとゲストの渡辺徹也氏からも感想があり、楽しんでいただけたようです。

その後、残念会、春の統一地方選挙で芦屋市長選挙に立候補の中島香織ワイズ、芦屋市議会議員に立候補の山口光一ワイズ、芦屋クラブからも上野ワイズ・柏原ワイズ・堤ワイズが応援に入り、どちらも善戦されましたが残念ながら当選とは行きませんでした。お二人から挨拶と今後の決意がありました。

桑野友子

宝塚クラブ35周年記念例会

6月21日(日)宝塚クラブ35周年の会に参加しました。

柏原ワイズと上野は、桑野ワイズの車に同乗、会場のがんこ苑に向かいました。

石造りの灯籠や十三重塔が大正、昭和を思わせるお庭が見事な建物に到着。



靴を脱ぎ、靴下で案内された会場です。昭和ロマンを満喫しました。

記念例会の第一部「I PREY」は広島から子供たちを呼び、開催。演じる原爆をテーマに

した演技は、大入りのソリオホールを沸かせたとのことでした。

場所を変えて「がんこ苑」での第2部の懇親会は、部屋を二つに分けて開催されました。

音楽などのイベントはなく、西日本区、六甲部などからそれぞれ報告があり19時に終了しました。

上野恭男

センテニアルクラブ40周年記念例会

「ラオスに YMCA を！」の発足式に参加した際、センテニアルクラブの会長から40周年音楽祭記念例会への参加のお誘いを受け、6月20日(土)柏原ワイズ共に参加しました。

案内チラシによると予定出演バンドに六甲部の石田フラチームが入っており、楽しそうです。

会場は梅田 Always、名前からするとライブハウスかな？ライブハウスなんて、もう何十年も行っていないなと思ながら会場に到着、通路ではフラダンスの練習、楽屋ではバンドの練習、完全にライブハウスです。第一部は定刻12時に開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、乾杯、食事歓談、センテニアルクラブ40年の歩みと続き、通常のワイズの記念例会です。

第二部はいよいよエンタテイメントの始まり、最初は阪和部の恵美奈バンドによる懐かしの昭和歌謡、次に京都部のバンド、いよいよ石田フラチーム、神戸クラブ中道メネットや神戸ポートクラブ大野ワイズもメンバーで今回は5名に編成です。永年練習されているとあって、なかなか息の合ったダンスチームでした。



最後は BACKWOODS MOUNTAINEERS、このバンドはライブハウスにも時々出演、懐かしのカントリー音楽を楽しみました。



一風変わった記念例会のスタイルですが、皆さん趣味の音楽やダンスを披露、会場は盛り上がりました。

芦屋クラブも6月例会は大岩会長のライブハウス「スターティング オーバー」

で開催、大いに楽しみましょう。

桑野友子

京都部プロジェクト訪問

「ラオスにYMCAを！」

「ラオスにYMCAを！」2月に六甲部主催で東西交流会(A NAクラウンH)がもたれました。(芦屋クラブからはマーシャルとして大岩会長・上野・桑野・柏原ワイズ4名が参加)、自クラブでは想像出来ないスケールの大きなイベントが紹介され魅了されました。

5月14日(日)5時から、からすま京都ホテルで「ワイズ有志の会 発足式」が行なわれ、90名の参加があり六甲部からは大野勉ご夫妻、田辺征一交流主査、桑野友子・柏原佳子が参加しました。パレスクラブの大野嘉朗ワイズ、新山直前理事を中心に京都部の力はこのようにして生まれるのかなとただただ感心致しました。

ラオスについては全く見識も無くどのように展開していきYMC A設立の夢をみせてもらえるのか、そのための些少ですが寄付をさせていただきましたが、とってもチップケに感じます。

京都YMC Aに留学しているユースリーダーの踊りと将来の希望が語られ、神戸のホテルに就職するようになれば、六甲部にも招く機会があればいいなと思いました。

ワイズに於けるグローバルな計画、YMCAへの在り方に触れ、豊かな時間を持つことが出来ました。



ワイズに於けるグローバルな計画、YMCAへの在り方に触れ、豊かな時間を持つことが出来ました。

柏原佳子

「居場所」ってどこに？

居場所の英語は my important place、自分の大切な場所。もっと言えば自分の存在が認められ、お互いの存在や目的を共有して心を通じあう場所、個人的な助け合いがある場所、ということになるようです。

家族はそれに当てはまる期待をもっています。しかしそれに加え、社会的にもそんな場所があることによって、拡がり生まれ幅のある豊かさが育まれていきます。わが国高度経済成長時代には、会社が男性を中心に居場所を提供し、居酒屋は居場所を提供する酒屋として愛好されていました。仕事のストレスもそこで仲間意識をもって解消し、前向きの気持を育んできました。酒が飲めない人も割り勘負け覚悟で集っていました。しかしながら会社環境は変わり、クールな関係が支配的になり「今だけ、カネだけ、自分だけ」の社会環境が膨らんできています。

このような社会情勢の中で、利潤が目的ではない非営利組織が役割を果たします。ワイズも社会にある非営利組織として独自のミッションを共有し、みんなで力を合わせて貢献する中で、「みつかる つながる よくなっていく」が実現し、そこにみんなの居場所が育まれることが期待されていると思います。

島田 恒

【 TOKIMEKI 】

◆やっと多くの花達と出逢える季節がやって来た。ここ数年、庭で育てている花達との再会である。厳しい冬季を過ごし芽生え、元気な顔を見せてくれた一瞬は誰もが感動せざるを……。この【ときめき】を大切にしたい。▼毎年一足先に、あの可憐な【日本水仙】

が開花した。ギリシャ神話の少年ナルキッソス(水仙の学名由来)を思い出す。出窓の一輪挿しのその姿に見とれ……。【レッド・ガーランド】の《あ



あたかもボールが鍵盤を転がる様な》けだるいあのジャズピアノを耳にし、朝のブラックコーヒーが喉にしみわたる。

▼2月に入り庭はまださびしく。開花に待ちくたびれていた頃、行きつけの花屋さんで薔薇と間違える程華麗な

花とめぐり合う。切り花としても売っていたが私は 2~3 本咲いている鉢植えを見つけ、それを庭で来シーズンも再生

させようと……。花の名前は【ランタンキュラス】(キンポウゲ科)と言う花卉は多いがそれほど派手でなく上品な花でした。【球根】だが果たして来季再生可能かどうか心配。(頑張るつもり)。



▼バックグラウンドとしてここ数年、自生(自分で種をとばし増やす。)している【ホワイト・レース】達も咲き始めた。可愛らしい脇役であり又、舞台として、庭一面を白一色で頑張つて呉れている。

▼5月に入りいよいよ主役【ジャーマン・アイリス】アヤメ科の登場だ。華麗な大きな



花卉の宿根性でノッポ(背丈 70~90cm)で、握りこぶしぐらい

の大きな花卉が、これ見よがしに数種類の色で咲いて呉れる。この時期ではバラと共に、誰もがカメラを向けたくなる花ではな

なだろうか。花びらの中に鼻を近づけるとやや強い甘い香りが……。★知人宅への株分け移植にもチャレンジし 2 年目にやっと開花した。折角だが先方様お好みの色が咲かず目下調査研究中《株分けミスだけではなさそうだし》。我が家では現在 5 色が 10 数年咲き続けている。

▼先日。ハナミズキの樹の足元で紫陽花に似た咲き方のミステリアスな大変美しい花を見つける。鉢植えで葉っぱが似たユリ科の【シラー・カンパニユータ】が庭にあるが…。

このような花ではなく全くユリに見えない。早速、事典で調べるとやはりユリ科の【シラー・ペルピアナ】であった。▼植えた記憶もないのに何と不思議な事か。事典で色々調べたがユリの生態系は実に複雑で難解。今回はあっさりギブアップだ。

▼そして女性ジャズボーカリスト【ダイナ・ワシントン】が歌う素晴らしいバラッド曲【縁は異なるもの】を想いだし、この珍しいユリとの出逢いも大切にしようと CD を聴く。そしていつもの様に【TOKIMEKI】を感じたい。



篠坂幸彦

「聖句 読み解き」

福音書には「百人隊長」が登場する。これはユダヤに駐留するローマ軍の小隊長であるが、彼は少し違った隊長だった。部下が死にかかっていた時、ユダヤ人の長老たちに使いをやって、助けて欲しい「この人はユダヤ人を愛し、シナゴークを建ててくれた」と。承知したイエスが進んで行かれると「主よ、ご足労には及びません。ひとことお言葉をください。そして癒してください。わたしの下には兵隊があり、命令に服従します。」との伝言がある。イエスは感心し「イスラエルの中でさえ、これほどの信仰を見たことがない。」と群衆に語り、その時、彼の部下は癒されたのであった。

このイエスによる癒しのポイントは、

①イエスの愛は国籍、人種を超えていて、ユダヤ社会では考えられない常識を破るものであった。回心して伝道者となったパウロもしかり。

②願いと祈りには具体的な行動が伴う。

③イエスの愛は距離を縮め、願いと祈りに応えてくれる。

羽太英樹

5月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター204号室 (敬称略)

日時： 5月24日(水)19:00~20:30

出席： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、横山 担当主事

◆ 例会について

・6月21(水) 19:00~21:00

神戸三宮のライブハウス、スターティング・オーバーにて開催
神戸市中央区北長狭通 2 丁目 8-5

阿部ビル地下1階 電話 078-391-8770

会費は 3,850 円 弁当とドリンク付き ライブあり

貸し切りとし、バナー設置

みどり作業所へみどり基金の贈呈を行う

・7月例会は、井出六甲部部長訪問、島田ワイズの講演

◆ 羽太会計より4月会計報告 承認される

◆ 25周年記念例会を、12月22日(金)のクリスマス会と同時開催することを決定

YMCA への記念品については YMCA と協議する

◆ チャリティランは 11 月 23 日しあわせの村で開催

今期より各クラブから1人選出する実行委員会で運営
芦屋クラブは大岩ワイズに決定

◆ 来期より例会会費の内 1,000 円をクラブ会計から補助することにする。(メンバーのみ)

◆ YMCA 報告： 日本語学科への応募者が順調に回復
スウェーデンのハールシヨ高校生11名が来神、にぎやかに交流を行っている。

以上

文責： 上野恭男

お知らせ

★中山豊美ワイズのご友人で毎月のように芦屋クラブの例会に参加されていた奥田実氏が5月にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。

★羽太英樹ワイズの体調が優れないとのことで、一ヶ月早めに会計関係の引継ぎをしました。6月1日からは桑野が会計事務を担当します。

■神戸 YMCA 創立記念礼拝(137周年)



5月13日(土)、神戸 YMCA 三宮会館チャペルにて創立記念礼拝をささげました。

神田健次先生(関西学院大学名誉教授)からメッセージをいただき、創立当時の指導者の志を思い起こし、未来に向かって私たちの志を確認するのを持ちました。

スウェーデンからのグループが来日

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、来日が延期になっていたスウェーデンのグループが、待望の来日を果たしました。5/20(土)~29(月)の間、神戸に滞在しました。来日したのは、ハールシオン・フォルクワグスクールで日本語を学ぶ学生たち11名と、教員3名、計14名です。この学校は成人教育機関で、原則として、17歳以上であれば入学できる学校です。今回来日した学生たちも、20歳~73歳と年齢は様々です。



滞在期間中、日曜日は YMCA 森のようちえんの活動に参加し、こどもたちと一緒に、おにごっこをしたりお弁当を食べたり、しあわせの村の自然の中で交流しました。その他、神戸 YMCA 学院専門学校のホテル学科・日本語学科の学生たちと、一緒に昼食を食べたりアクティビティをしたり、楽しい交わりののちを持ちました。お菓子交換などは、とても盛り上がりました。年齢・国籍などを越えた輪が広がり、とてもうれしく思います。今後もさらに交流を深めていければと思います。

担当主事 横山徹太郎

編集後記： ■例年より早く梅雨入りしました。梅雨入り早々大雨、TVでは各地での被害が映し出されています。交通機関の遅れや運休、帰宅も大変な状況です。■今日の朝刊は各紙一面に将棋の藤井聡太新名人のニュース満載、「最年少名人」「最年少七冠」、出身地の名古屋では号外も出たそうです。新たな「にわかファン！」も ■コロナも第5類になり、TV・新聞のニュースからは殆ど消えました。変異株や後遺症等、専門家は指摘しますが、鬱陶しいことはもう忘れたのが本音、ワイズも各種行事が復活しました。■6月10日・12日は熊本での西日本区大会、芦屋クラブからは上野・柏原・桑野・船橋(各ワイズ)が参加、大会の様子は次月号で報告します。

桑野友子